

指導の手引き書付き

上映時間 22分

ビデオ版 69,300円(本体66,000円)

[C#0111]

いのちを学ぶ

生きる: 死と始ること



大野靖之さん



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

企画意図

いま、子どもたちの生活様式は変化し生命の尊さを学ぶ機会も少なくなっている。この作品は、生と死の現場にいる実際の人々取材しかけがえのない命の尊さを伝えることを狙った。生徒の生活に身近なテーマをとりあげ、命を支える家族や周囲の人々の真摯な姿から命の大切さを訴える。

内容

○病気と生きる、支える

絵里ちゃんは、3歳のときに小脳ガンを発症し、放射線治療をうけながら成長していきました。しかし、13歳のときに左顔面麻痺という症状でガンが再発し、養護学校に入ります。さらに、17歳のときにはガンは腰に転移。その後、ついに余命半年と宣告され、ホスピスに入院しました。そんなとき、絵里さんはシンガーソングライターの大野靖之さんから「命唄」というCDをプレゼントされ、大野さんの大ファンになりました。絵里さんは、19歳で亡くなるまで、大野さんの歌に支えられていました。

○限られた命を生きる

現在、日本には全国に150以上のホスピス緩和ケア病棟があります。ホスピスは、末期ガンとエイズの患者さん、その家族のための場所です。スタッフは「限られた命を最後まで自分らしく生きたい」という患者さんの思いを支えています。

ホスピス長の三枝好幸先生は、患者さんに寄り添い、その声に耳を傾けます。ホスピスは死を待つ場所ではありません。ある患者さんは、肺と骨に転移したガンの痛みから解放され、週末には自宅に帰るといふ希望が叶いました。

ホスピスの病室で、絵里さんは大野さんの歌、「仲間賛歌」をいつも歌っていました。亡くなる3ヶ月前には、卒業記念のタイムカプセルに入れるために友達と先生、自分宛に手紙を書きました。「2年後に、みんなに会えますように。病気になんか負けません」

○新しい命の誕生

お父さんの経営するパン屋さんで働く児玉敦子さんは、お腹に赤ちゃんがいます。2歳半の結奈ちゃんに赤ちゃんの誕生を見せたいと思い、自宅で出産することにしました。

児玉さんは、産婦人科に通うと同時に、自然な出産のための両親学級に通い、出産に備えました。両親学級の講師を務めていた斉藤さんに助産師をお願いしました。

赤ちゃんがお母さんに「生まれたい」と合図を送り始め、出産は始まりました。児玉さんの出産を見守る結奈ちゃん。生まれそうになったとき、お父さんは結奈ちゃんを呼びに行き、家族で新しい命の誕生を祝いました。

1年前にメジャーデビューを果たしたシンガーソングライターの野野さんは、青山円形劇場でコンサートを行うことになりました。その収益金の一部を日本対ガン協会に寄付します。野野さんは言います。「限りある命をどう生きますか？」

大野靖之 プロフィール

1982年生まれ。高校3年の冬に乳がんを母をホスピスで亡くす。以来「命」や「家族」をテーマに歌い続ける。千葉県で授業のゲストに迎えられたことから「道徳講師」としてのライブ活動へと発展。現在では年間100校の学校ライブを行う。2005年7月に「心のノート/あいしてる」で東芝EMIよりデビュー。著書「未完成のパズル」「先生はストリートミュージシャン」

監修・・・八街市立八街中学校
教諭(研究主任) 大木真理子

プロデューサー・・・中鉢 裕幸 脚本・監督・・・安倍千加子
大谷 啓一 撮影・・・越智 光彦

制作協力・・・株式会社バンフォーカス

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2006年作品

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101